

登録コード	TS245500	開講年度	2026				
授業科目	航空機機械システム演習Ⅰ				担当教員	曾根原 誠	
英文授業名	Seminar of Mechanical System for AircraftⅠ				副担当	松原 雅春・柳原 正明	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	航空機システム共同研究講座に所属する機械システム工学分野1年生	
信大コンベンション	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				⇔	航空機における機械システム技術や, 次世代の航空機産業を支えるための技術に関する知識を演習を通じて理解できるようになる.	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	航空機における機械システム技術や, 次世代の航空機産業を支えるための技術に関する知識を演習を通じて理解できるようになる.	
(2)授業の概要	航空機における機械システム技術を学習した後, 次世代の航空機産業を支えるための技術を念頭に『修士1年生時の修士論文の研究』を通じて学習する.						
(3)授業計画	1年間の修士論文ための研究を通じて, 研究進捗報告会などの研究室ゼミおよび学外の学会などで発表する. また他研究テーマについても学習する. 更に2月中旬頃の修士論文中間発表会で1年間のまとめと修士2年次の予定について説明する. 時間の目安として, 1.5 h/週 × 50 週/年 = 75 h/年である.						
(4)成績評価の方法	・研究進捗報告会などの研究室ゼミおよび学外の学会, 修士論文中間発表会などの報告を基に総合的に評価する.						
(5)成績評価の基準	・【授業の達成目標】に記載の内容に対して, 合格水準にあれば60点以上70点未満, 前記よりもやや上にあれば70点以上80点未満, 前記よりもかなり上にあれば80点以上90点未満, 前記よりも卓越していれば90点以上とする.						
(6)事前事後学習の内容	・主に(4)成績評価の方法に記載の内容に対して, 教員や同席の学生からのコメントに対して適宜追加実験や参考文献の調査などをして, 次回の発表までに回答できるようにする.						
(7)履修上の注意	・研究進捗報告会などの研究室ゼミには毎回参加すること. ・適宜学外の学会で発表すること. ・修士論文中間発表会で必ず発表すること.						
(8)質問,相談への対応	・履修登録後に別途連絡する.						
(9)その他							
【教科書】	・指定しない.						
【参考書】	・指定しない.						